

「特別の教科 道徳」の全面実施に向けて学校で取り組むことは何ですか。

★ ポイント

小学校は、平成30年度に「特別の教科 道徳」が全面実施されます。現行の道徳教育と比べて変わらないところと、変わるところを明確に捉えながら、自校のこれまでの道徳教育の内容や体制を見直すことが大切です。その視点は、次の7点です。

1 学校の道徳教育の重点目標を明確にしましょう。

どのような児童を育てたいのか、児童にどのような心を育てたいのか、具体的な目標を設定します。 * Q 1, Q 2を参照

【漠然とした目標】

人間尊重の精神を生かし、道徳的心情と道徳的判断力を高め、道徳性を養う。

【具体的な目標】

人間尊重の精神を生かし、思いやりをもって、規範を尊重しようとする子供を育成する。

2 学校の重点内容項目を明確にしましょう。

道徳の重点目標の達成に向けて、どのような内容を重点的に指導するのか（重点内容項目）を明らかにします。 * Q 2を参照

3 重点内容項目に関わる具体的な指導の機会、時期を明確にしましょう。

重点内容項目を具体的に、いつ、どのような機会に指導するかを明らかにします。 * Q 4を参照

4 学校の道徳教育の全体計画及び別葉を作成しましょう。

別葉については、重点内容項目の指導ができているか点検しながら、適宜、修正・加筆していきます。 * Q 3, Q 4, Q 5を参照

5 1単位時間の概要を示した指導計画を作成し、学年部の方針等を共通の基盤とした授業を展開しましょう。

指導の時期、主題名、ねらい、教材名（出典）、主題構成の理由、学習指導過程と指導の方法（学習活動、主な発問等）、他の教育活動等における道徳教育との関連などの内容を一覧表にして表します。 * Q12を参照

6 道徳科の特質に応じた授業を積み上げていきましょう。

道徳的諸価値の理解を基に自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、「これからどうしていくか」などの自己の生き方についての考えを深める学習を積み上げ、道徳科の授業の質的転換を図ります。 * Q13を参照

7 明確な指導観をもって授業を行い、児童の学習状況を把握しましょう。

児童に何を考えさせるのか、教師がしっかりと理解して指導し、授業で児童がどのような学びをしたか、個人内評価でしっかりと見取ります。 * Q13, Q14を参照